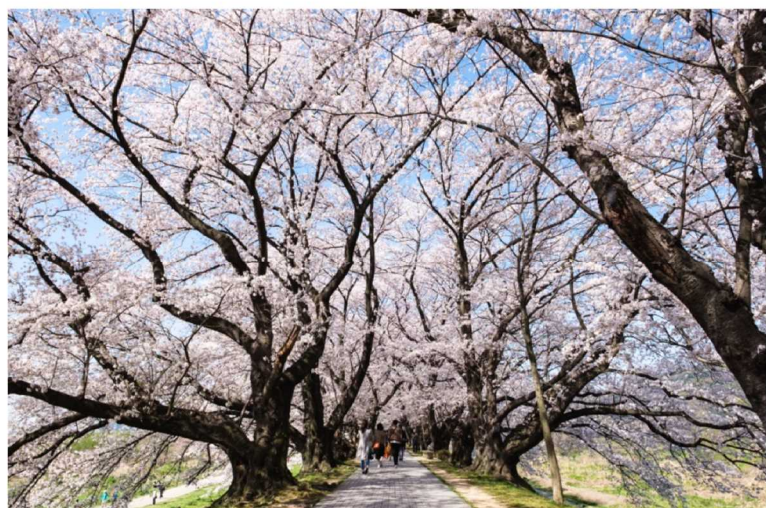


台風21号により倒れた背割堤桜を使った “さくらベンチ”が完成しました

背割堤さくらまつり実行委員会



満開のさくらの通り抜け
(平成30年4月)

倒れて咲く花を見ることが出来なくなった桜。
その桜の木を使ってベンチを製作しました。

近畿地方の桜の名所である淀川河川公園背割堤地区の桜並木は、平成30年秋の台風21号によって、約9割が倒木や枝折れ等の被害に遭いました。



被害を受けた桜並木
(平成30年9月)



半年の間乾燥させた大枝の加工



園路内に倒れた桜の除去作業



さくらであい館館内に設置

ご来館の際には、腰掛けて三川合流域の背割堤さくらの歴史に思いを馳せてみてください。

“さくらベンチ”の製作には「背割堤さくら保護・育成基金」を用いました。皆様のご支援に深く感謝いたします。